

事務事業名	安全安心の地域づくり推進事業				担当	市民生活部 安全安心課 生活安全係		
政策名	F	市民の知恵と夢で拓くみんなのまちづくり			増補版施策名			
施策名	2	協働によるまちづくり			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成17年度～）		
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	1.一般管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	平成16年まで実施してきた総合地域づくり事業（交通安全推進）を引き継ぎ、17年度から交通安全のほか、防犯、防災についての活動も取り入れてスタートした。事業内容は、地域で実施する次のような活動へ助成する。座談会の開催（交通安全、防犯、防災、消費生活）1区3万円限度。安全安心活動1区5万円限度。交通安全活動（飲酒運転撲滅運動、街頭指導、危険箇所調査検査活動）防犯活動（地域防犯パトロール等の実施）防災講習、火災予防、救急救命講習の開催。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 安全安心の地域づくり推進事業  25年度計画 みんなで作る地域づくり事業として実施する	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア 助成額	千円	2,899	2,979	2,803	2,817	3,462
	イ 座談会等の開催区数	区	121	118	122	120	130
	ウ 安全安心活動の実施区数	区	49	53	47	51	57
エ							
オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 区	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア 実施区数	区	123	121	122	120	130
	イ						
	ウ						
エ							
オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 地域における犯罪・交通事故を防止するとともに、災害時における地域住民の協力的体制の確立と意識の高揚を図り、安全で住み良い地域社会を実現する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア 交通事故件数	件	394	356	302	229	220
	イ 事故死者数	人	10	4	5	1	0
	ウ 負傷者数	人	480	444	371	289	280
エ							
オ							
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 市民の安全安心への関心を高める。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア 自然災害からの安全性が高いと思う市民の割合	%	76.0	79.6	58.4	58.2	60.0
	イ 犯罪に不安を感じている市民の割合	%	63.8	72.1	69.3	73.5	71.4
	ウ						
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,899	2,979	2,803	2,817
	事業費計(A)	千円	2,899	2,979	2,803	2,817	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	200	200	200	200
		人件費計(B)	千円	811	854	848	840
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,710	3,833	3,651	3,657	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成16年まで実施してきた総合地域づくり事業（地域交通安全推進事業）を引き継ぎ、17年度から今までの交通安全のほか、防犯、防災についても活動項目としてスタートした。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成18年度からの「はつらつ地域づくり事業」では、消費生活問題、救急救命講習についても活動項目とした。平成21年度からは「ふれあい地域づくり事業」として実施されている。その中の「安全・安心の地域づくり推進事業」では、全地区必須事業として「交通安全・防犯・防災座談会等の開催を支援している。平成21年は、交通事故発生件数、死者数とも増加した。高齢者の事故の割合が高く、その対策が求められた。不審者の出没、振り込め詐欺等の犯罪も依然として発生しており、市民の防犯に対する関心は高まっている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	地域での交通安全・防犯・防災等に対する意識が高まり、その対策・対応に役立ったとの声が上がっている。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域での取組みが、安全安心なまちづくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域での安全安心への取組みへの支援である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 区を対象としている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 各区で安全安心の取組みがなされている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 安全安心なまちづくりに支障が出る。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 地域の実状に合わせて、必要な事業を実施する方法である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							